

2016年12月期第2四半期 決算補足説明資料

株式会社 土木管理総合試験所
(証券コード：6171)
2016年8月10日

I. 2016年第2四半期決算概況	P 2
II. 今後の戦略	P 7

I. 2016年第2四半期決算概況

1. ブランド力の向上により受注増となり売上高は2,210百万円（予想比100.4%）を達成。
2. フィールド&サポート型営業の展開強化により営業利益率が6.6%へ上昇（予想比+0.6p）
3. 物理探査業務の3Dレーダ探査ビジネスも黎明期から成長期へ移行。

土質・地質調査試験業務	地質調査が計画以上の受注。 人員体制の強化により受注量が増加。
環境調査試験業務	土壌汚染対策条例の制定により、厳格化。 指定機関の淘汰も当社に追い風。
非破壊調査試験業務	物理探査が予想比106.8%と増収。

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率
売上高	2,200	2,210	100.5	47.4
売上総利益 (売上総利益率)	670 (30.5%)	720 (32.6%)	107.5	47.4
販売費及び一般管理費 (売上販管費率)	537 (24.4%)	575 (26.0%)	107.1	53.1
営業利益 (営業利益率)	132 (6.0%)	145 (6.6%)	109.8	33.1
経常利益 (経常利益率)	133 (6.0%)	142 (6.4%)	106.8	33.8
四半期純利益 (四半期純利益率)	81 (3.7%)	76 (3.4%)	93.8	29.2
一株あたり 四半期純利益	12.73	12.47	98.0	-

- 売上高、売上総利益、販管費、営業利益、経常利益の予想比は達成。
- 通期予算進捗率は全体的に低くなっているものの、当社の業績は、季節変動の影響が大きいいため業績予想に変更なし。

試験総合サービス事業

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率
売上高	1,979	1,964	99.2	47.0
売上総利益	645	686	106.4	47.2

地盤補強サービス事業・その他事業

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率
売上高	192	213	110.9	50.2
売上総利益	18	26	144.4	57.8

連結業績予想に変更はありません。

(百万円)

	2015.12期 (実績)	2016.12期 (予想)	前期比額	前期比率 (%)
売上高	4,363	4,665	+302	106.9
売上総利益	1,483	1,520	+37	102.5
販売費及び一般管理費	1,046	1,082	+36	103.4
営業利益	437	438	+1	100.2
経常利益	418	420	+2	100.5
当期純利益	277	260	△17	93.9
1株当たり純利益	43.45	42.27	△1.18	97.3
1株当たり配当金	9	15	+6	166.7

- 2016年12月期減価償却費150百万円（前期比+22百万円）や人事制度の変更により人件費が増加するも営業利益は増益予想。
- 税負担増加により純利益は減益を予想。
- 平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

Ⅱ. 今後の展望

試験総合サービス

- 防災関連計測業務の拡大
- 老朽化、震災等によるインフラストック診断需要の拡大
（3Dレーダ探査業務での差別化）
- 大規模プロジェクトへのワンストップサービスでの参入
（複数調査の一括受注体制の強化）
- 土壌汚染調査の需要拡大

市場

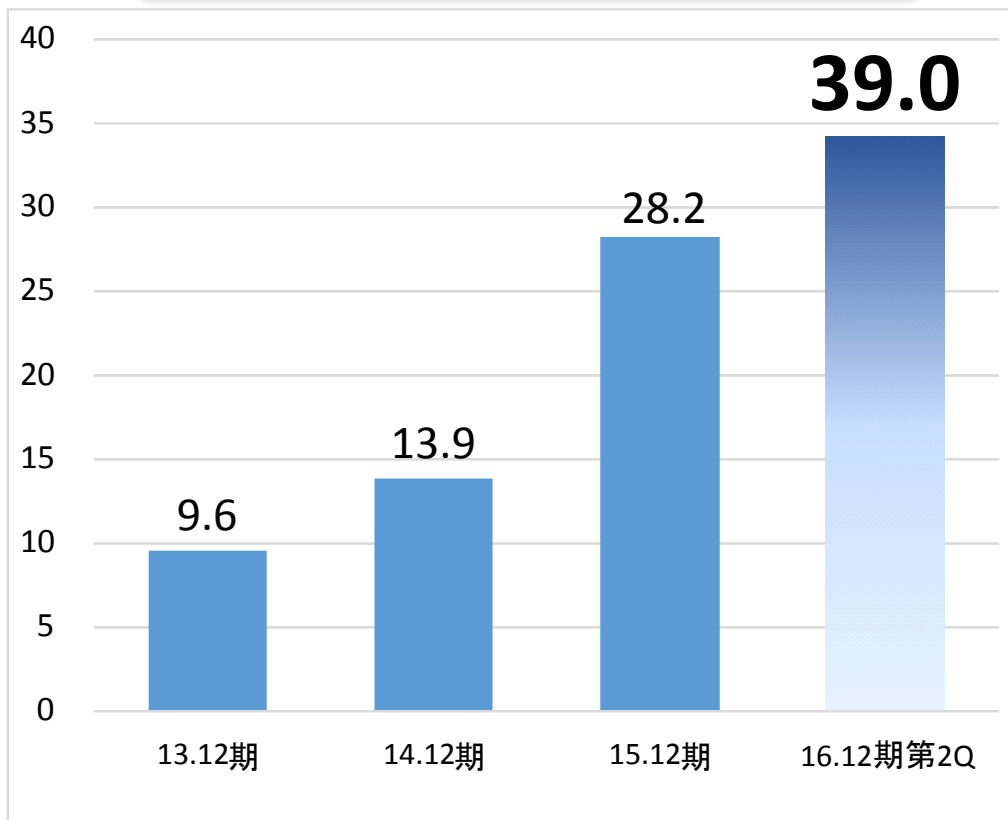
- 九州支店設置及び西日本試験センターの稼働による全国展開
- オリンピック、リニア中央新幹線、北陸新幹線延伸等への対応
- 試験・調査範囲を拡大するM&A
- 九州及び東北における震災復旧関連事業
- 海外展開



ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）による道路、橋梁、トンネルの3Dレーダ探査業務が急拡大。

3Dレーダ探査業務売上高推移

(百万円)



高速移動型3-Dレーダ探査車

NETIS登録番号 KK-130032-A

ロード
スキャン
ビークル

Road
Scan
Vehicle



RSVの特徴

- 車線規制なしで診断が可能
- 高速走行（時速約80km）が可能

受注実績

- NEXCOエンジニアリング中国
- NEXCOエンジニアリング東北 等

ロード スキャン ビークル

Road Scan Vehicle



「Road Scan Vehicle」は弊社の登録商標です

■システム構成



- 3Dレーダ探査システムを1台追加して2台体制とし、業務拡大に対応できる体制を確立しております。

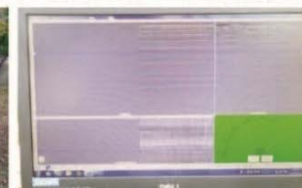
軌道下空洞探査システム ※特許出願中

軌道下盛土内には伏び(通水管)があります。伏びの損傷は空洞を発生させ、路盤陥没を引き起こし、輸送障害の発生原因となります。軌道下空洞探査システムは、『安全』・『スピーディー』・『高精度』に空洞の早期発見・早期対策を可能にする技術で、輸送障害防止の新しい探査システムです。レールテックは鉄道保守の専門医として鉄道の安全を支えます。



特長

- ・多チャンネルで広い探査幅(2.1m)
- ・レーダをスライドさせての探査も可能
- ・探査画像はX、Y、Zの3次元で表示
- ・広帯域レーダで探査精度が向上



◀ 走行探査中にデータの取得状況を確認できます。



▲ 地下の状態判定には詳細な画像解析を行います。

◀ 探査区間が短い場合、手押しでも行えます。

「安全」の追求には常に先手の対処が必要です

- ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）を鉄道軌道に応用しました。自動走行による探査（時速約30km）が可能です。2016年1月より受注開始。JR西日本等にて試験走行を実施しております。

DKネットワークと国内大型プロジェクト



2016年7月受注

＜東京オリンピック関連事業＞
13号地新客船ふ頭岸壁底質調査
受注内容：新客船ふ頭岸壁における航路および泊地の底質調査

2016年8月受注

＜リニア中央新幹線関連事業＞
南アルプストンネル山梨地区
受注内容：地質調査

■ 大型プロジェクトに合わせた拠点展開もしており、今後の更なる受注拡大が期待されます。

西日本試験センターを中心とした営業展開



- 山口支店・西日本試験センターを中心に、中国、四国、九州地方への展開。
- 既存の土質・地質調査試験を中心に、非破壊調査試験、環境調査試験にも対応し、中央試験センターと同規模（年間対応試料数30,000件）の試験センターを目指しています。
- 南海トラフ地震に備えるための、液状化診断業務を推進中。

2016年3月稼働

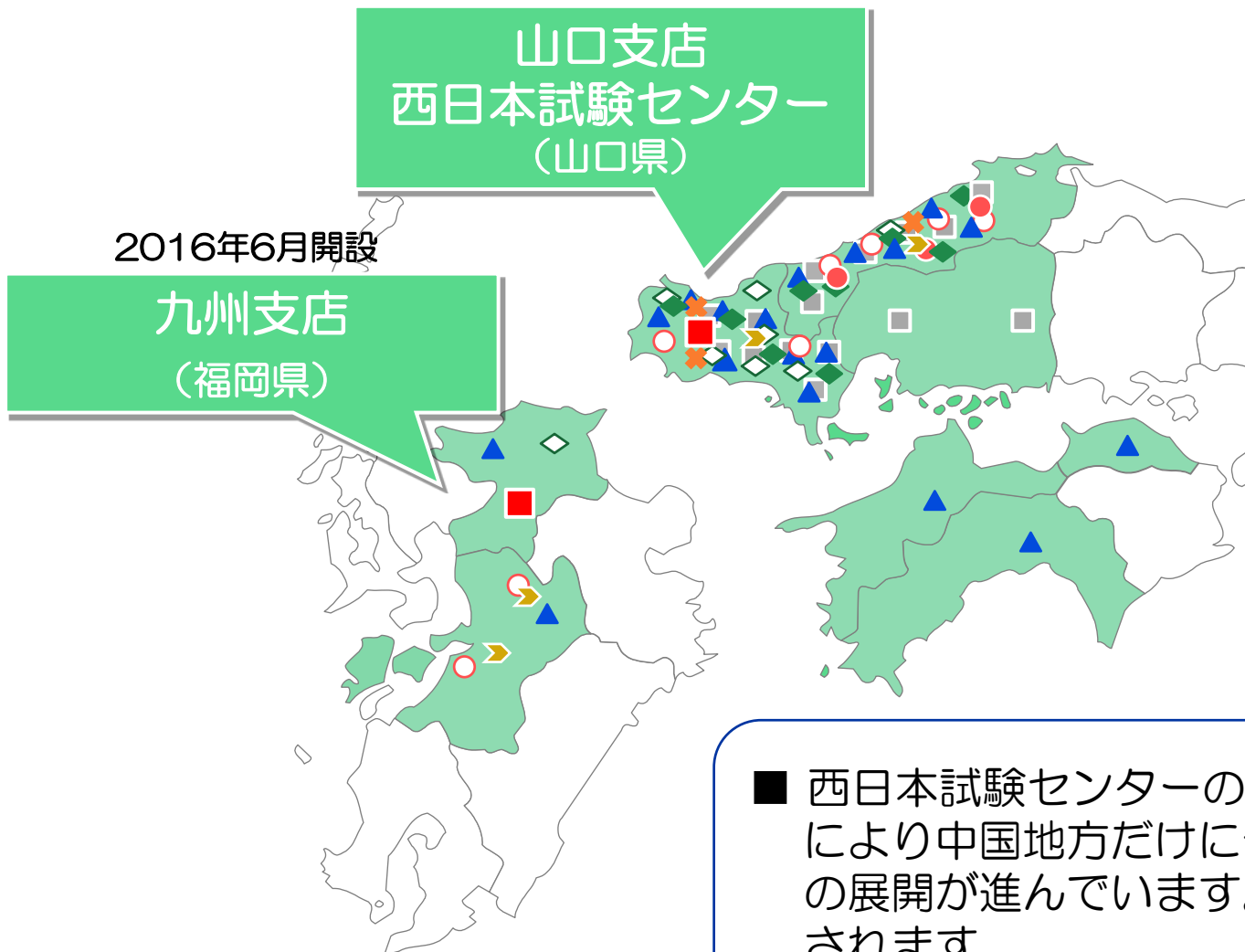
山口支店
西日本試験センター
(山口県)

2016年12月期上期受注件数

	試験種類	受注件数
□	現場試験	35
○	非破壊 (CO)	48
●	非破壊 (鉄)	11
▲	室内試験	97
✕	ボーリング	6
➤	物理探査	1
◇	環境調査	15
◆	環境分析	36

2016年6月開設

九州支店
(福岡県)



■ 西日本試験センターの開設及び、九州支店の設置により中国地方だけに留まらず九州、四国地方への展開が進んでいます。今後も順調な受注が期待されます。

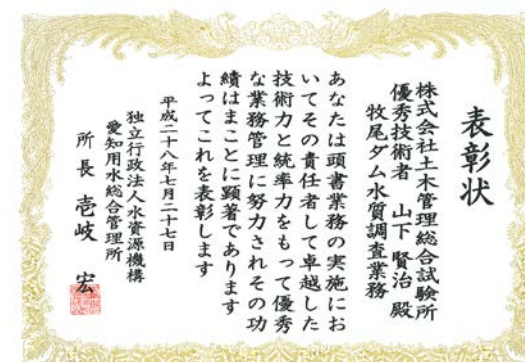
環境部が草木ダム管理所長表彰を受賞

弊社が受注した「平成27年度 草木ダム河川水辺の国勢調査業務」において、業務の取組が評価され、平成28年7月21日「草木ダム管理所長表彰」（優良業務表彰・優秀技術者表彰）を頂きました。



■「河川水辺の国政調査」の一環として、草木ダム貯水池及びその周辺地域における底生動物及び動植物プランクトンの生息・生育状況の把握を目的として実施いたしました。

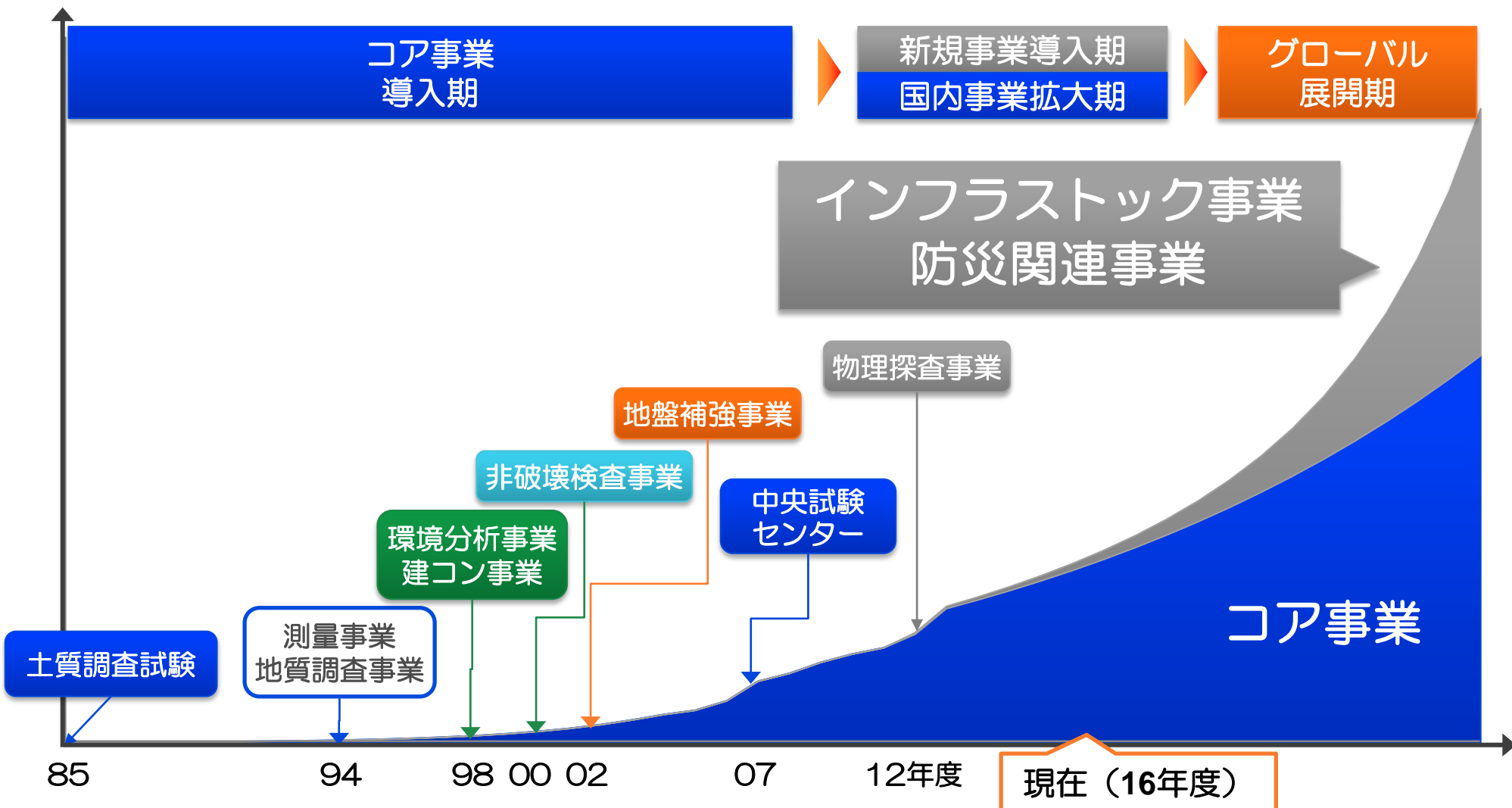
牧尾ダムでは
2年連続表彰



（百万円）

	2015年12月期 実績	2018年12月期 目標	対2015年12月期 比較
連結売上高	4,363	5,627	+28%
連結営業利益	437	551	+26%
当期利益	277	355	+28%

事業規模



■ 【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部

TEL : 026-293-5677 / FAX : 026-293-6431

E-mail : sikenjyo@dksiken.co.jp

〒388-8006

長野県長野市篠ノ井御幣川877-1